

地域との関わりを大切に
地域の思いに寄り添いたい



あすけだより

特集 地域おこし協力隊 工藤さん

令和8年度から、地域おこし協力隊として足助地区で活動している工藤さん。
のどかな環境のもと、足助への思いが溢れる方たちとの関わりを通して
足助地区のために活動したいという気持ちがより強くなったそうです。
今回は、地域おこし協力隊の工藤さんの特集しました。

11・12月号

2026年

No. 224



地域おこし協力隊 足助担当 工藤郷嗣さん

この4月、豊田市から地域おこし協力隊の足助担当として委嘱された、工藤郷嗣^{さとし}さんにお話を伺いました。現在、工藤さんは萩野地区の賃貸住宅にお住まいで、足助支所内の豊田市山村地域暮らし支援センター（とよたさんそんセンター）の足助事務所に勤務されています。奈良県のご出身で、これまでは東京でファッション業界のお仕事に携わってこられたそうです。

地域おこし協力隊は、山村地域へ移住して地域の担い手となるとともに、地域外からの視点を生かして地域の活性化等に取り組むことを任務としており、任期は3年間です。将来について伺っ



たところ、「任期中に地域に貢献しながら稼げることを見つけて、任期後も豊田市の山村地域で暮らして行くことを考えています」と話してくださいました。YouTubeでの動画配信にも取り組んでいるそうですので、ぜひご覧ください。



地域おこし協力隊員になった経緯は？

一言で言うと、私にとっては「セカンドキャリア」です。私は20歳からサラリーマンとして働いてきました。奈良の田舎から東京へ出て、お金と出世のために、がむしゃらに働きました。時代背景もあったと思いますが、「休みなんていない。それよりも、がしがし働きたい」という気持ちで生きてきました。

しかし、50歳を目前にした頃から、お金や出世ではなく、「これからどう生きていくか」を考えるようになりました。そんな時に出会ったのが地域おこし協力隊という制度です。地域に関わりながら新たな人生に挑戦できることに魅力を感じて応募し、ご縁をいただいて採用していただきました。

足助に初めて来た時の最初の印象は？

初めて足助を訪れたのは面接の日でした。それまでは足助の場所も知らず、香嵐溪についても知りませんでした。ちょうど新緑が美しい季節で、風も穏やかだったことから「すごく良い場所だな」というのが最初の印象でした。また、「思っていたよりもずっと便利で全然田舎ではないな」と感じたことが印象に

残っています。

面接まで時間があつたため、まず香嵐溪を見て、その後、重要伝統的建造物群保存地区である足助の町並みを歩いてみました。しかし正直なところ、少し寂しさも感じました。そのことが、地域おこし協力隊を募集する背景の一つなのだろうと感じました。

足助に来て良かったこと、困ったことは？

一番良かったことは自分自身がとても人間らしい生活を送れていることです。趣味はランニングで、今朝も午前4時に起きて午前5時から走りました。いつも1時間から1時間半ほど走っています。職場は午前8時30分から始まり、午後6時頃には帰宅します。



とよたさんそんセンター足助事務所にて

東京で働いていた頃にはなかなかできなかった、ゆとりのある生活が送れています。

困ったことは特にありません。もちろん都会と比べれば、買い物に行く際に距離があるなどの不便さはありますが、それほど気にはなりません。強いて挙げるとすれば、虫が家の中に入ってくるくらいです。

今、主に取り組んでいることは？

空き家を活用して地域外の事業者を誘致するため、地域の皆さんにご協力いただきながら実行委員会の立ち上げに取り組んでいます。来年の春から本格的に動き出す予定で、その準備を進めている段階です。

田舎暮らしで欠かせない、草刈りや稲作のお手伝いもさせていただいています。

また、使われていない場所を有効活用し、地域の人たちが気軽に集まれるコミュニティスペースをつくる計画も進めています。

地域と関わる上で、心がけていることは？

着任した当初から大切にしているのは「あいさつをすること」と「誠実でいること」です。あいさつは、当たり前のことのようにですが、都会では隣近所の人とあいさつを交わす機会が少なくなっています。だからこそ、こうした当たり前のことを積み重ねることで信頼を積み上げたいと思っています。

これから挑戦してみたいことは？

今、一番楽しみにしているのは、このインタビューで使わせてもらっている古民家の敷地内に、自分で小屋を建てることです。ぜひ挑戦してみたいと思っています。

地域おこし協力隊の面接の際に、犬と暮ら

せる住まいを希望していました。しかし、入居した賃貸住宅ではペットを飼うことはできず、空き家も探してみたものの、なかなか条件に合う物件が見つかりませんでした。そんな悩みを相談していたところ、ここに、大きな犬小屋を建てるチャンスが生まれました。それが今の目標であり、足助での暮らしの中で最も楽しみにしていることの一つです。

みなさんに伝えたいことは？

「地域おこし協力隊」という名前は少し大きめで、私には恐れ多いと感じています。「地域をおこす人」というと、どこか上から目線のような印象を受けることもあります。

しかし、私自身はそんな気持ちで活動しているわけではありません。ただ、地域の皆さんのお役に立ちたい、地域のために何かできることをしたいという思いで日々活動しています。まだまだ知らないことも多く、いろいろと教えていただければと思います。また、困り事や相談事がありましたら、気軽に声をかけていただけると嬉しいです。



取材動画公開中！！

市のHPの掲載リンクから、取材動画をご視聴いただけます。ぜひご覧ください！

↓こちらから



足助にいらっしゃる前は、香嵐溪も知らなかったという工藤さんですが、この数ヶ月間で、どんどん人とのつながりを広げていらっしゃいます。地域の役に立ちたいという思いで活動されている工藤さんに、気軽に声をかけてもらえたらと思います。

(あすけだより編集委員 高木伸泰)

わくわく事業団体紹介

令和8年度のわくわく事業団体のうち、4団体の活動内容を紹介します。
身近な地域活動をぜひ応援してください！

足助	麺の会
	代表：河合 徳人
「竹灯り」による足助の活性化と担い手育成 (申請回数：3回目)	
・竹灯りによるイベント開催で香嵐溪だけでなく足助に興味を持って足を運んでもらえるといいなと思います。 ・8月は午後6時から竹灯りを並べて、足助の町並みの夜を照らしました。 ・11月は土日の午後5時から竹灯りを香積寺周辺に並べて、紅葉と一緒に見て楽しんでいただければと思います。	
 	
竹灯り設置作業 竹灯りと町並み	

足助	豊田建築家協会
	代表：水野 茂朋
足助 浦辺鎮太郎 建築祭 (申請回数：2回目)	
・三州足助屋敷、あすけ楓門、足助交流館、参州楼、足助トレーニングセンター、百年草など足助に多くの建築作品を残した建築家「浦辺鎮太郎」に係る情報を発信していくことで、来訪者と住民の交流促進を進めています。 ・今年度は「あすけ建築ツーリズム」（浦辺建築ツーリズムカードの配布）やシンポジウムの開催を予定しています。	
 	
令和7年度シンポジウム 建築カード（イメージ）	

足助	参州足助寿々家界限芸術祭実行委員会
	代表：加藤 悟
芸術祭を活かした町並みの魅力発信 (申請回数：2回目)	
・足助の町並みに残る旧料亭「寿々家」の建物を中心にした界限を舞台として、アートを通じた新たな文化の発信や、地域内外の交流を目指して活動しています。 ・今年度は、昨年度の芸術祭の様子やアーティストの作品紹介に加え、地域の皆さんから寄せられた感想なども収録した図録の制作を進めており、年内の作業終了を目指しています。	
 	
令和7年度の芸術祭の一幕 図録編集作業	

足助	山の音を観る会
	代表：鳥居 智子
観音山整備事業 (申請回数：2回目)	
・荒廃している観音山（足助町）を清掃・草刈り等により整備し、「第二の香嵐溪」として四季を楽しめる身近な観光・交流スポットに再生する活動です。 ・毎月第3土曜に有志が集まり整備活動を継続的に行っています。 ・今後も景観改善と交流創出を通じ、魅力向上と持続的な地域活動の基盤づくりを目指します。	
 	
山の音を観る会 観音山整備作業	

令和9年度（2027年度）わくわく事業を募集します

わくわく事業は「地域課題の解決」や「地域の活性化」に取り組んでいる団体の事業を支援する制度です！
もっと住みやすく、魅力たっぷりの足助を地域の仲間と作ってみませんか？

【募集期間】

令和9年（2027年）1月8日（金）まで

▶補助制度の詳細、申請様式は市ホームページをご確認ください。

足助地区
わくわく事業
ホームページ ▶



【相談・申込み・問合せ先】

豊田市役所 足助支所 地域振興担当（川口・日野）

電話：62-0601



空き家情報バンク

令和8年4月より、下記補助金（①～④）が併用申請できるようになりました！

詳細は2次元コードをご確認ください。

お問い合わせは、足助支所 地域振興担当まで。



① 山村地域で家を新築・購入するとき

- 補助金名 山村地域等定住応援補助金
- 補助金額 住宅取得費と土地取得費を合算した金額の10分の1（上限150万）



② 空き家情報バンクに登録した家をリフォームするとき

- 補助金名 山村地域等空き家再生事業補助金
- 補助金額 改修費の10分の8（上限150万円）

③ 空き家情報バンクに登録した家を事業用にリフォームするとき

- 補助金名 山村地域等空き家事業活用補助金
- 補助金額 改修費の10分の8（上限150万円）



④ 空き家情報バンクに登録した家の片付けをするとき

- 補助金名 空き家情報バンク登録促進事業補助金
- 補助金額 空き家の片付けに要する費用の10分の8（上限20万円）

【お詫びと訂正】

令和8年8月に発行しました「あすけだより9・10月号」のあすけ子育てつながりプロジェクトの紹介に誤記がありました。記事内の香嵐溪無料駐車券の名称が「あすけ子育てバス」となっておりましたが、正しくは「あすけ子育てパス」です。改めてお詫びと訂正をさせていただきます。大変申し訳ございませんでした。

社会福祉協議会からのお知らせ

社協足助支所では毎月第3金曜日
午前中にまめだサロンを開催しています♪
8月21日には夏休みイベントを実施しました♪
当日は『ちんどん豊田倶楽部 絆』さんに賑や
かな出迎えをしていただき、小・中学生と地域
の方が一緒に体操やゲームを楽しみました♪



当日の様子

地域みなさまに
知ってほしい



まめだサロンでは毎月のサロンの他にお抹茶
会やハンドベル演奏会など様々なイベントを開
催しています！

参加されたい方や、ご興味のある方は社協足助
支所にお問い合わせください♪

問合せ：社会福祉協議会足助支所 62-1857

足助包括からのお知らせ

足助の未来につなぐ

～中学生向け認知症ステップアップ講座～

昨年度、認知症サポーター養成講座を受講した
足助中学校2年生を対象に、7月15日（水）「認
知症ステップアップ講座」を実施しました。

グループワークでは、「物を取られた」「ご飯を
食べていない」など、認知症の人の発言を題材に、
どんな対応や声掛けができるかを考えました。生
徒たちは1年生の時に学んだことを思い出しな
がら、認知症の人の気持ちを考え、自分たちに
出来る関わり方について意見を出し合いました。

来年度もステップアップ講座を実施する予定
です。高齢化が進む足助を支える一員として、認
知症サポーターの今後の活躍が期待されます。



問合せ：足助地域包括支援センター（足助病院内）
62-0683（直通）

足助警察署からのお知らせ



犯罪被害者月間（11月1日～12月1日）

広げよう支援の輪

～あなたの思いやりと理解が犯罪被害者等の支えになります～

令和8年から「犯罪被害者等基本法」の成立日である
12月1日以前の1か月間を犯罪被害者月間としています。

「犯罪被害者月間」は、犯罪被害者等が置かれている状況や
犯罪被害者等の名誉又は生活の平穏への配慮の重要性等につ
いて、理解を深めて頂くことを目的としています。



警察では、各種犯罪被害相談窓口を設け、犯罪被害に遭われた方々からの様々な相談に対応してい
ます。また警察だけで対応できないことについては、専門の機関をご紹介します。



愛知県犯罪被害者支援総合サイトは
この二次元バーコードから

問合せ：足助警察署 62-0110

足助地区 年末年始休業のご案内

□ 通常通り □ 休業・休館日

	施設名		電話番号	2026年12月						2027年1月					
				26(土)	27(日)	28(月)	29(火)	30(水)	31(木)	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)		
行政等	豊田市役所		62-0600												
	足助交流館		62-1251												
福祉	足助子育て支援センター		62-1145		PM										
	社会福祉協議会足助支所		62-1857												
	百年草デイサービスセンター		61-1118												
	シルバー人材センター 足助支所		62-2166												
バス	あいま〜る（地域バス）		62-0601												
	おいでんバス	稲武足助線 （(株)オーフ足助営業所）	67-2222	土休日ダイヤ運行		平日 ダイヤ 運行	土休日ダイヤ運行						平日 ダイヤ 運行		
		旭足助線 （(株)オーフ足助営業所）													
		さなげ足助線 （豊栄交通(株)本社営業所）	74-1110												
	名鉄バス	矢並線（豊田営業所）	32-1371												
		岡崎足助線（岡崎営業所）	0564- 21-1918												
体育	足助トレーニングセンター		62-2546											12/1～1/4	
	足助グラウンド・テニスコート・足助農山村広場														
	ふれあいセンター萩野		62-3300												
観光	旧鈴木家住宅		62-3511			12/28～1/7									
	足助中馬館		62-0878												
	旧田口家住宅		-			12/28～1/5									
	足助城		62-0770	12/25～1/5											
	百年草		62-0100												
	三州足助屋敷		62-1188	12/25～1/2											
	すげの里		69-1622												
ごみ	藤岡プラント		76-2027		PM			臨時受入							
	渡刈クリーンセンター		28-2000					臨時受入							
	グリーン・クリーンふじの丘		75-2101					臨時受入							
	緑のリサイクルセンター		43-2080		PM										

ごみ収集日について

種 類	対象地区	2026年12月			2027年1月		
		29日(火)	30日(水)	31日(木)	1日(金)	2日(土)	3日(日)
燃やすごみ	月・木曜日			収集なし			
	火・金曜日	収集あり			収集なし		
資源の日	第1金曜日		収集あり		収集なし		

※12/29~1/3は「プラスチック製容器包装」の収集はありません。

※お住まいの対象地区がわからない場合は、お気軽に問い合わせください。

☆問合せ 環境部 循環型社会推進課 電話番号 71-3001

あすけチャレンジ WEEK

8月3日から5日の3日間、足助中学校の生徒2名が、豊田市役所足助支所で職場体験をしました。そこで足助の町並みを学んだり、足助の課題について一緒に考えたり、意見を伝え合うことの大切さも学びました。

僕が職場体験で印象に残った体験は足助の町並みを見学したことです。

この体験で僕は普段目にしている足助の町並みの特徴やその町並みを守っていくための規則があることを知りました。

僕は、職場体験をする前は市役所の仕事といえば窓口業務というイメージがありましたが、この3日間の体験を通して、足助支所では足助をより良くするため、様々なことに取り組んでいることを実感できました。

★足助のココが好き★

ゆったりと景色を楽しむことができる「新緑の香嵐渓」

足助中学校2年 岡田 清雅



★足助のココが好き★

地域の人と交流できる「ふれあいフェスタ冷田」

足助中学校2年 大山 登也

足助の名スポット紹介

きりやまはくさんじょう
霧山白山城

うねじょうたてぼりぐん
畝状堅堀群が見られる足助で唯一のお城



霧山町にある白山神社。その裏山にあるお城です。現在山頂には白山神社奥宮が祀られています。築城時期、城主等は不明なお城ですが、愛知県内でも珍しいとされる畝状堅堀群うねじょうたてぼりぐん（敵兵の侵入を防ぐための仕掛け）が足助で唯一見られるお城です。

足助には30以上のお城の跡があるとされています。散策に気持ちの良いこの季節、戦国の足助の歴史を感じに、お城散策をしてみたいかがでしょうか。



Google マップ

（あすけだより編集委員 鈴木悠太）

いつもお読みいただきありがとうございます。今後もよりよいあすけだよりをお届けするため、ご意見・ご感想・ご要望などいただければ幸いです。以下の連絡先へお気軽にご連絡ください。

人口と世帯数（令和8年9月1日現在）
人口 6,441人 世帯数 2,723世帯
出生数と死亡数（令和8年8月末現在）
令和8年度 出生1人 死亡43人

発行：豊田市役所足助支所 〒444-2424 豊田市足助町宮ノ後26-2
電話：市民生活担当 ☎62-0600 地域振興担当 ☎62-0601
FAX 62-0606 ✉asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp

